

## スペクタクルの文法

— 舞踊家レニ・リーフェンシュタール、  
及び以降の軌道を巡って —

慶應義塾大学大学院 吉田悠樹彦

レニ・リーフェンシュタールは多彩な顔を持つ芸術家である。一般的には1938年のベルリンオリンピックを撮影した『民族の祭典』『美の祭典』（コードネーム『オリンピア』）やドイツ国家社会主義党（以後ナチスドイツ）のニュルンベルグ党大会を撮影した映画史上稀に見る問題作『意思の勝利』を撮影した映画監督として知られている。しかしその原点においては舞踊家であった。リーフェンシュタールに関する研究は日本では殆どなされてこなかった。1990年代に入りリーフェンシュタール研究を基礎づける研究が発表されてきた。平井正『レニ・リーフェンシュタール』と瀬川祐司『美の魔力』はドイツ映画というコンテクストからリーフェンシュタールという問題系を解明しようとした先行研究だ。しかしこの芸術家が映画という分野で研究されてきたこともあり舞踊家レニ・リーフェンシュタールについてはほとんど研究がなされていない。舞踊家時代のリーフェンシュタールの写真は残されているが、動画は遺されていない。舞踊家以後に撮影された映画『聖山』（アルノルト・ファンク監督1926年）で舞踊家役として主役を勤めた時の映像と映画『低地』（1954年）に遺されたハロルド・クロイツベルク振り付けのフラメンコを踊る女性の映像が舞踊家時代を偲ばせる映像である。『オリンピア』の編集時にオリンピックの映像を「美的法則、リズムの法則」に従って組み合わせる編集したという自伝『回想』の記載から、映画編集における「リズム」とダンスの「リズム」を同一とみる両者を混同した解釈がこれまで多く行われてきた。『オリンピア』や『意思の勝利』における映像美、ドイツ第三帝国における舞踊・身体文化といったイメージからリーフェンシュタールの舞踊家時代も一人歩きをして語られてきた。しかしリズムという「スペクタクルの文法」は映画と舞踊で本来異なるものだ。映画にリーフェンシュタールが自分自身におけるダンス及びダンス作品のリズムを適応したということは必ずしも断定できない。故に資料や細かい公演情報の整理があまりなされてこなかった。

リーフェンシュタールは1918年にアニタ・バルバーも学んだグリム＝ライターダンス学校で舞踊を学びだす。1921年はバルバーの代役としてこの学校で舞台に立った。1923年ユッタ・クラムトの夏季講習会に参加後、同年の7月から10月の間に短期間だけヴィグマンのドレスデンの学校にて学

ぶ。1923年10月23日ミュンヘン、10月27日ベルリンが舞踊家レニ・リーフェンシュタールの初舞台だった。以降1924年2月ブラハ公演で足を怪我し、24年6月まで8ヶ月間70公演という最盛期のイサドラ・ダンカン並みの公演数を残し舞踊家時代を終える。

舞踊家リーフェンシュタールの作品は15作品確認出来る。その作品はソロが中心であり、残された資料からは彼女が憧れたアニタ・バルバーやクロイツベルク、ニディ・インペコーフェンに影響された作品であったことが推測できる。ソロで音楽に合わせて踊ることを好んだリーフェンシュタールは、同時代にソロで似た音楽に合わせて踊ったニディ・インペコーフェンに近い。マリー・ヴィグマンやラバンの作品群と比べてみると、ソロで洗練された様式化されたモダンダンスを求めている。ヴィグマンやラバン、ヴァレスカ・ゲルトといった舞踊家とは方向性が異なっていた為だ。最も重要なことは映画『聖山』で踊られたダンスの原作である。『浜辺の踊り』を製作したことである。舞踊評論家J・シコウスキーは映画『聖山』の映像を舞踊が二次元の表現の制約に適合しているとして評価した。

短いキャリアの中で8ヶ月間に70公演をこなした成功の背景にはバックアップしたネットワークの存在も予測できる。1920年代のドイツのスターであったニディ・インペコーフェンは「天才」とされてきたが結婚後消息不明となり多くの研究書でも以後の所在は不明とされた。1984年に80歳を迎えたという新聞記事が掲載されるが、多くの舞踊研究者が面会を求めても謝絶されてきた。日本人ということで神戸圭子・栗山淳が例外的に面会出来た。千田是也は『トムと踊り』においてインペコーフェンがマックス・ラインハルトによるラインハルト・シンジケートによりプロデュースされ成功した可能性について指摘をしている。リーフェンシュタールに真っ先にコンタクトをとったのはラインハルトである。ラインハルトは初舞台を終えたばかりのリーフェンシュタールをドイツ劇場に迎え入れた。以後多くのエージェントから出演依頼を受け殆ど每晚何処かの都市で踊るようになった。

リーフェンシュタールがヒトラーと知り合った時ヒトラーが記憶していたのは映画『聖山』だ。しかしリーフェンシュタール自身が『聖山』に出演し、ヒトラーと出会うのは映画公開から6年後のことである。また彼女はナチスが政権を取る1933年の10年以上前にナチスドイツの政治的理念を目指すダンス作品を上演していたわけではない。映画と関わる前に短い期間であったが賞賛を浴びた舞踊家であったことは事実だ。